

報 告 書

開催日時	平成 28 年 8 月 3 日 (水) 19 : 00 ~ 20 : 22	
開催場所	咸宜公民館	
出席議員	(4 班) 溝口、坂本 (盛)、居川、三苫、高倉	
	班 長	溝口
	司 会 者	坂本 (盛)
	記 録 者	溝口
参加人数	21 名	
主な要望 ・ 提 言 等	<p>○A氏</p> <p>1. 日田市の人口推計として減っていくことに危機感を感じる。5 年間の見通しで 1,338 名の雇用を創出するとなっている。5 年間の比較をやるときの人口動態を基準とするものはあるのか？</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>議会としては、この雇用数を目指している。そのための地方創生の事業であり、力を注いでいく。</p> </div> <p>2. 2060 年の目標設定は難しいと思うが、現実の人口動態と比較する必要がある。理想と現実の乖離と推移を見守る必要がある。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>人口動態については、5 年ごとに見直しを行うこととしている。</p> </div> <p>3. 総花的な予算付けになっている。若者が出て行く事の問題点を深堀していったこういった施策が考えられているが、市民には分りづらい。地方自治においても、川崎市の「なんでもやる課」等の地元企業を盛りたてる働きを考えてもらいたい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>議会としては、地元企業で最も多い中小企業を盛り上げるために、中小企業支援センターを要求し、設置された。そのセンターの活用を促したい。</p> </div>	
	<p>○B氏</p> <p>1. 50 年後に 5 万人となるとしているが、早急な対策を考えるべきである。近いうちに何かを実現して欲しい。地元に着した基幹産業が必要。特に農林業に力を入れるべき。3 世代同居も推進すべき。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>何も対策を講じなければ 3 万 5 千人になると推測されるので、危機感をもっている。様々な施策を打つ必要があると考えている。農林業も地方創生で施策を提案している。日田市は林業の町であるため、林業を仕事にし、市内に定着できるようにするためには、どういった施策が必要であるか、議論もしている。 アイデアがあれば、提供してもらいたい。</p> </div>	

2. 具体的な事が見えず、後手に回っている観がある。若者が農業に就かない。それをどうするのか。農業を会社化すれば良いではないか。地方創生の補助を活かして一次産業のテコ入れをしてもらいたい。

企業の農業への進出は全国的にある。耕作放棄地を活用するためにも、ある程度の企業化を期待している。企業が進出している他市の事例等も今後検討していきたい。また、農業法人化は以前から試されている。

○C氏

1. 休耕田も多いため、点在している土地を集約する等、日田モデルを作って欲しい。シルバー民主主義になっているので、夜間議会の開催をお願いしたい。若者の政治参加のために、政治が身近に感じられるようなPRをお願いしたい。

若者の意見を取り入れることについては、議会も取組んで行きたい。夜間議会については、メリット、デメリットを調査しながら、検討を行いたい。

2. 健康寿命に関して、日田市内も車移動のため余り歩かない。健康寿命を伸ばす働き掛け、PRをして保険料の抑制をしてほしい。

健活ポイント制度を今年度始めた。もっと宣伝を行うよう市に伝える。

3. 災害時、熊本地震についても仮設の住宅の確保が必要である。避難場所も耐震強度もしっかりとした場所を確保して欲しい。市に訴えて欲しい。

6月議会でも、多くの議員が一般質問で災害時の対応について質問を行っていた。今回の災害の経験を踏まえ、施策を検討する必要がある。

○D氏

1. 火災時のサイレンの音が聞こえづらい。聞こえるような対策をお願いしたい。周りが煩いというのであれば考えるが。

今回の報告会でも、他の会場からも同じような意見があった。要望として受止めたい。音量についても、新しい庁舎になって聞きづらいという声もあるため協議する。

○E氏

1. 今回の予算措置の中身は、永遠に予算を入れないと継続されない内容になっているように見受けられる。維持するのに予算が食われ、膨らんでいく。それよりも、初期投資だけで自走できる仕組み作りが出

来ないか。(意見)

○F氏

1. 危惧しているのは、商店街の後継者問題である。2～3割が地元で後継者がいない。商店街の活性化に向け様々な事を行っているが、市がやっているのは「空き店舗」対策であり、目に見える効果がない。大型店舗に客が流れている現状である。具体策はあるのか。

事業承継については、大分県にセンターがあり、そちらを活用する等して欲しい。商店街の活性化は全国的な課題である。他市では100円商店街などあり、それらの例を含め、関係者と一緒に協議していく必要があるのではないか。

○G氏

1. 町内に事業所があるが、協賛金や自治会費を納めない事業所がある。払う様に指導して欲しい。

要望として受け止め、市へ反映する。